

平成18年度予算状況

1 予算概況

引き続き厳しい状況です。

平成18年度の水道事業予算は、平成18年3月定例市議会で議決されました。

2 資本的収支予算（浄水場や配水管等を建設・整備する予算）

収入 4億8,015万円

支出 9億8,090万円

概要

水道施設や配水管等の建設及び整備に要する財源については、国などからの借入金が2億円、水道管布設の費用の一部として負担していただく分担金が1億8,165万円、三郷中央地区関連工事などの工事負担金が9,850万円で総額4億8,015万円を予定し対前年度比では、13.3%の減少となりました。これは、支出の減少にともなって借入金を減額したためです。

支出については、三郷中央地区の配水管整備、老朽化した配水管の布設替などに4億2,844万円、北部浄水場施設の更新事業などに4億9,559万円、借入金の返済には5,686万円で総額9億8,090万円を予定し、対前年度比では、12.1%の減となりました。これは、老朽化した浄水場施設の更新事業費が昨年 비해減額したことによるものです。

支出に対する不足額については、積立金などで補てんいたします。

3 収益的収支予算（水道水をお届けするための予算）

収入 21億0,579万円

支出 21億3,439万円

概要

給水サービスなど1年間の営業活動を行うための収益的収入については、主に水道料金の収入が20億1,927万円、配水管の切廻しなどの受託工事収益や下水道使用料の事務手数料などの営業外収益などが、8,652万円で総額21億0,579万円を予定し、対前年度比では0.9%の増加となりました。

支出については、県営水道からの受水費や水を浄化するためにかかる費用に9億0,377万円、水道水を各家庭や、事業所などに送るためにかかる費用に2億4,507万円、職員の給与や事務経費などに4億2,692万円、浄水場・配水場の施設や導水管・配水管などの設備の償却費に3億6,271万円、その他の費用に1億9,592万円で総額21億3,439万円を予定し、対前年度比では4.0%の増となりました。

積極的なコストダウンやさらなる経営の合理化・経費の削減に努めましたが、結果としては、2,860万円の赤字予算となりました。